

平成19年度 橋梁技術発表会（大阪地区）のアンケートでの質問事項について

1．極厚板を使用した大規模アーチ橋の現場溶接技術報告

Q1：

新桜宮橋のコンセプトと出来上がりについて教示下さい。

A1：

新桜宮橋の設計に際しては、周辺の景観への影響や、大阪の新しいシンボルとなることを考慮し、市民の意見を広く収集してデザイン検討委員会により基本方針が決められました。

すなわち、新旧の橋が対として併置されることで現在と旧橋建設当時の技術の違いや、その間にある時間的奥行きを表現するために、新橋を旧橋と同じアーチ形式として最新の素材・工法を用い、アーチ高さや橋長など様々な要素について可能な限り旧橋と相似形となるように計画されました。

また、支間長の出来形は規格値 ± 25 mmに対して、上流側で -17 mm、下流側で -4 mmでした。

2．海外工事報告

Q1：

海外進出の背景についての説明をお願いします。

A1：

長大橋建設技術の維持・継承のために、現在建設が盛んな中国に目を向けました。中国としても、高品質の日本製ケーブル技術に対して特に関心がありました。